

第3回新庁舎建設ワークショップ資料（これまでの意見集約）

新庁舎建設場所について

現庁舎敷地（基本構想候補地①）

- ・都市市計画道路が整備されており周辺に公共施設（消防、警察、体育館等）が配置されている。
- ・車を利用する場合の利便性が高い
- ・現庁舎敷地への建設に賛成。
- ・災害（地震・風水害）のリスクを低減するために対策が必要となる。
- ・建設中の来庁者、職員駐車場やイベント時に臨時駐車場として利用があり、代替駐車場の確保が課題となる。
- ・公共交通機関を利用する方の利便性向上を検討すべき。

健康福祉センター南側（基本構想候補地②）

- ・都市市計画道路が整備されており周辺に公共施設（消防、警察、体育館等）が配置されている。
- ・用地が限られており、高層建築になる可能性が高く、耐震性や建設コストの面で課題がある。
- ・健康福祉センターの利用者、イベント時に臨時駐車場として利用があり、代替駐車場の確保が課題となる。
- ・災害（地震・風水害）のリスクを低減するために対策が必要。
- ・公共交通機関を利用する方の利便性向上は検討すべき。

その他の場所（鷺津駅周辺、湖西病院跡地、高台移転）

- ・アクセス、駐車場などの要件が整えば、現庁舎周辺である必要はないのではないかな。
- ・湖西病院移転後の跡地は、新たな公共施設の候補地になるのではないかな。
- ・地震、風水害などに備えるため高台などリスクを低減できる場所を選定できる。
- ・庁舎建物及び駐車場確保のため用地確保（面積や費用）が課題になる。
- ・新しい場所への移転による現庁舎周辺地域の価値や利用者の利便性が低下することが懸念される。

施設の複合化について（健康福祉センター、市民活動センター）

複合化する

- ・窓口集約によるワンストップ化で利便性向上が期待できる。建物間の移動による煩わしさもなくなる。
- ・子育て世代や高齢者のことを考えると集約されていた方がよい。
- ・集約によるメリットが大きいと感じるため集約に賛成。

複合化しない

- ・DX化の進展により、物理的な複合化が必須ではなくなるのではないかな。
- ・複合化により駐車場不足が懸念される。

新庁舎に必要な機能について

基本方針	分 類	具体的な設備等
誰もが安心して 使いやすく快適 なサービスを提供する庁舎	バリアフリー対応	点字ブロック、点字プレート等の視覚的案内 広い通路・エレベーター 手話対応職員等の配置 おもいやり駐車場
	子育て世代対応	キッズスペース 授乳室・おむつ交換スペース
	外国人対応	多言語対応案内板 翻訳機能付きタッチパネル
	市民交流スペース 居心地の良い空間	カフェスペース・無人コンビニ 学生の居場所 内装の木造利用促進 明るい庁舎
機能性、効率性、 生産性の高い庁舎	窓口業務の効率化	窓口業務の集約によるワンストップ化 効率的な動線設計
	災害に強い庁舎	行政機能の継続 防災機能の強化（耐震性、備蓄等）
	駐車場の活用	災害時の拠点やイベント会場
	議場の活用	フラット構造とし、未使用時は会議室や多目的室として活用
「こさい」を感じ られる庁舎	庁舎デザイン	自然や文化を取り入れた庁舎デザイン ハード面（外観）とソフト面（展示や文化的要素）のバランスを考慮
	特産品の活用	カフェ等を設置する場合は湖西市の特産品を取り入れたメニュー 特産品の販売
ゼロカーボンに 配慮した庁舎	エネルギー効率の改善	ソーラーパネルの設置・屋上緑化 ゼロカーボンを考慮した設備導入
	持続可能な設備	将来のメンテナンスを見据えた設備の選定
その他	商業施設用の設備やスペース	商業施設等の設置を見据えた設備、スペースの確保
	複合化前の施設の活用	健康福祉センターや市民活動センターの行政機能スペースの活用
	将来人口を考慮した設計	過剰な規模・設備にならないように庁舎の規模感や予算を考慮